

令和5年度

よく学び力をつける子 友達となかよくできる子 はつらつと体をきたえる子



とよはる

みんな友達 豊かな心 あふれる意欲

<http://schit.net/kasukabe/estoyoharu/>

春日部市立豊春小学校

学校だより10月号

児童数548人

春日部市道順川戸 37-1

令和5年10月2日



実りの秋

～スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋～

校長 松原秀樹

2学期が始まってから、熱中症指数が31を超える日が続きなかなか外遊びができませんでしたが、秋の彼岸あたりから、少しずつ外での活動ができるようになって参りました。運動会に向けて、子ども達の体力をあげていきたいと考えています。

さて、秋と言えば、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋と言われます。

気候がさわやかになり、運動に最適の時期であり、秋の実りと言われるように、おいしい食べ物がたくさん実り、またおいしくなる季節です。学校ファームで育ててきた野菜やさつまいもが収穫の時期を迎えています。また、バケツで育ててきた稲も先日収穫し、脱穀まで体験することができました。これもひとえに、保護者、学校応援団の方々の御協力があってこそです。夏休み期間中の水やりや畑の管理に感謝申し上げます。

日が短くなってきました。夕焼けがきれいにみえて空は明るいのに、足下が暗くなっています。校庭に遊びに来る豊春っ子達も家路を急ぎます。これからますます外での活動時間が短くなり、家で過ごす時間が長くなります。そこでおすすめなのが読書です。

幼少期における読書の良さについてはさまざまな意見があります。

- 1 語彙力が増え、読解力が身につく。
- 2 自分以外の視点が手に入り、コミュニケーション能力が高まる。
- 3 想像力が広がり、発想が豊かになる。

語彙が増えることで読解力が高まります。読解力は、教科書を読み理解することはもちろんですが、人とコミュニケーションを取る際にも相手のことを考え理解することにつながります。そこから自分以外の視点を手に入れ、自己中心性を脱却し、相手の気持ちに共感できるようになったり、相手の立場を想像できるようになり、相手を思いやる行動がとれるようになります。本を読む行為は文章をきっかけに想像力や思考力や想起力を駆使して自分なりの心の世界を築きあげていく能動的な行為と言えます。

(参考文献 榎本博明著「読書をする子は〇〇がすごい」)

こういったよい習慣を作るために、家庭ではお家の人と、学校では教職員と言語環境を整え言葉づかいに気をつけたり、絵本など興味のある本と一緒に読んだり、読み聞かせをしたり、読書の時間を設定したり共にしていければと考えています。

現在スマートフォンやタブレットなどの端末を使う時間が増えていますが、機器に触らない時間や曜日を決めて、是非、御家庭で読書に取り組んでみてください。

今月もどうぞよろしくお願いたします。

9月の教育活動より

シェイクアウト埼玉



9月1日(金)埼玉県内一斉の防災訓練を行いました。本校では、ショート避難訓練を含めると毎月、災害・防犯等の避難訓練を行っています。子ども達は、素早く避難、素早く行動することができていました。

6年生 社会科見学



9月14日(木)6年生が国会議事堂、科学技術館に行ってきました。国会議事堂では、衆議院議場を見学しました。子ども達は、テレビのニュースで見ている場所を実際に見ることができ、うれしかったようです。貴重な体験となりました。

児童棟中央、東側トイレ完成



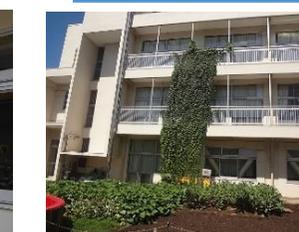
9月14日(木)児童棟中央、東側のトイレの改修工事が終わり、使用できるようになりました。きれいになったトイレに子ども達は、大喜びです。スリッパに履き替えたり、掃除をしっかり行ったりして、きれいなトイレを保っていきます。

5年生 バケツ稲の収穫



9月25日(月)5年生が学校応援団の方に協力を得ながら育ててきたバケツ稲の収穫を行いました。稲刈り鎌で稲を刈り、脱穀機を使って脱穀も行いました。子ども達は、米作り体験を通して、米作りの大変さを実感することができました。

緑化コンクール 県審査



本校では、学校応援団の方に協力をいただき、畑の整備・野菜の栽培をしたり、委員会活動で草花を種から育てたりするなど環境緑化活動に力を入れています。緑化コンクールでは、県の審査に進みました。